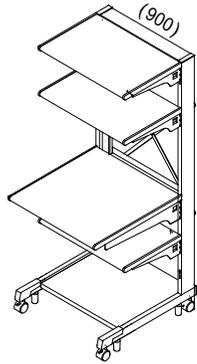


お買い上げありがとうございます
マルチメディアラックを正しく組み立てていただくため、
この組立説明書をよくお読みください。

組立説明書
マルチメディアラック
RAC-261 () 外寸法のもの
RAC-264 () 内寸法のもの

完成品



ご注意とお願い

1	天板の上に乗らないでください。
2	お手入れの際は、シンナー・ベンジン・みがき粉などは、使わないでください。
3	耐荷重内での使用にとどめてください。 総耐荷重は100kgです。
4	
5	
6	

仕様

品名	W750(W900)マルチメディアラック
品番	RAC-261(RAC-264)
外形寸法	幅750(900)×奥行715×高さ1511
重量	49kg(55kg)

製品に関するお問い合わせは

製品の品質管理には、細心の注意をはらっていますが、万一不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店又は下記までお気軽にご相談ください。

東京サンワサプライセンター 岡山サンワサプライセンター
〒140-8566 東京都品川区南大井 6-5-8 〒700-0825 岡山市田町 1-10-1
TEL 03-5763-0011 FAX 03-5763-0033 TEL 086-223-3311 FAX 086-223-5123

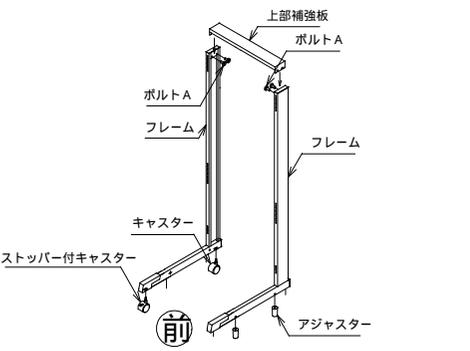
組み立てる前に

□用意していただくもの・・・手袋（鋼製品ですので組み立ての際は必ず着用してください。）
□部品を確認してください。（この商品は天板とフレームと棚板の3梱包になっています。）

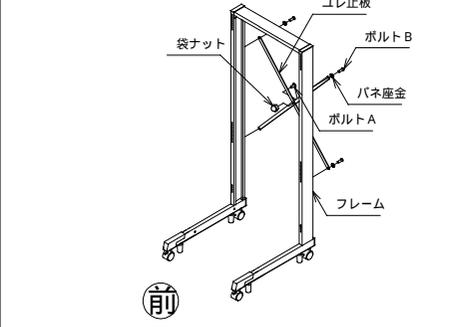
天板		フレーム		棚板		コード受		ボルトA (M6×12)		袋ナット (M6) ×1		棚板抜け止め金具		ストッパー付キャスター ×2	
メイン天板 ×1	下段棚板 ×1	フレーム (左右) ×各1	ユレ止板 ×2	可動棚板 ×3	棚板取付板 (左右) ×各3	天板取付板 (左右) ×各1	上部補強板 ×1	コード受 ×1	×25	×4	×8	×8	×2	×2	×2
									×4	×4	×2	×2	×2	×2	×1
									タッピングネジ (3M×8) ×3	六角レンチ ×1	アジャスター ×4	キャスター ×2	1.3Mスパナ ×1		

組み立て方 (ボルトはゆるめに締められていて、完成後もう一度締め直してください。)

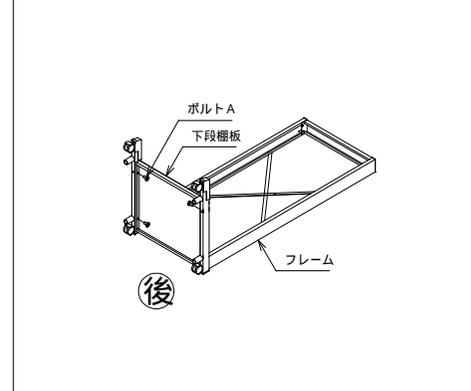
1 フレーム (左右) にキャスター、アジャスターを取付けます。
(ストッパー付キャスターを手前側に取付けて下さい。)
フレーム (左右) 上部内側にボルトAを半分程締めます。
下図の如くフレーム (左右) を起こし、フレーム (左右) 上部内側に取付けてあるボルトAに、上部補強板を差込み、ボルトAを締め込みます。



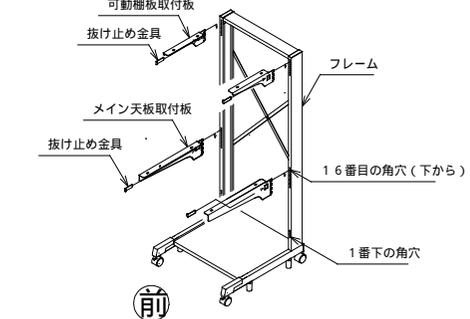
2 まず、ユレ止板を2枚合わせ、中央部の穴にボルトAを挿入し袋ナットで締めます。(2枚の板が手で回る程度に締めて下さい。)
下図の如く、フレーム (左右) 後側にユレ止板をバネ座金を入れたボルトBで取付けます。この時、ユレ止板の中央部の袋ナットが前側を向くように取付けてください。
ここではボルトは緩めに締めておき、3で下段棚板を取付けた後にもう一度ボルトを締め直して下さい。



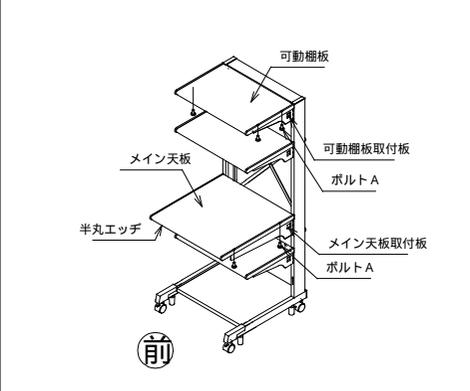
3 まず下図の如くラックを後に倒します。
フレーム (左右) に下段棚板をボルトAで取付けます。
(下段棚板には前後左右はありません。)



4 まず下図の如くラックを起こします。
フレーム (左右) 手前側の角穴にメイン天板取付板及び、可動棚板取付板をお客様のお好みの位置に差し込みます。(角穴のピッチは30mmです)
メイン天板の高さを床から700mmにする時は、メイン天板取付板の一番上の爪を、フレーム (左右) の角穴の下から16番目の角穴に差し込んで下さい。次に、メイン天板取付板及び可動棚板取付板の内側に抜け止め金具を差し込みます。



5 メイン天板及び可動棚板をメイン天板取付板及び可動棚板取付板の上に乗せ、ボルトAで取付けます。
メイン天板及び可動棚板は半丸エッジ側が前側になるように取付けて下さい。



6 コード受をメイン天板又は可動棚板のどちらかお客様のお好みの位置の棚の後側にタッピングネジで取付けます。(タッピングネジを締め付けるには+のドライバーが必要なので用意して下さい。)
次に、コードクリップをお客様のお好みの位置に取付けて下さい。
これで完成です。

